



※日本財団の支援により施設整備された病院において、新型コロナウイルス対策で活躍する救急救命医
写真提供: HuMA (災害人道医療支援会)

コロナ対策に10億円寄付で 医療従事者を支援。

この度、BOAT RACE 振興会は、日本財団の「災害復興支援特別基金
〈新型コロナウイルス緊急支援〉」へ10億円の寄付をさせていただきました。

また、日本モーターボート競走会も同様に1億円の寄付をさせていただいております。

これらの資金は日本財団を通じて医療機関の破綻を防ぎ、感染症指定医療機関の
医療用資機材の充足により医療体制を整えるために活用される予定です。

これもひとえに、ボートレースファンの皆様の日頃のご愛顧の賜物と重ねて深くお礼申し上げます。



ボートレース業界ではこれまでも、新型コロナウイルス感染症対策に様々な支援を行ってまいりました。

ボートレース業界の支援

- ・2020年
- 4月 開催施行者・日本モーターボート競走会・日本モーターボート選手会、BOAT RACE 振興会は、医師・看護師・ボランティアの方々の活動資金として日本財団に6億円を寄付。

日本財団の活動

- ・2020年
- 5月 医療従事者への医療支援事業を開始。
- 7月 全国128カ所の救急医療施設へ総額約50億円の支援を決定。東京・お台場に災害危機サポートセンターを建設。(10月開所)
- ・2021年
- 2月 日本財団は、高齢者施設従事者への無料PCR検査事業を開始。(1都3県対象)

このほか、日本モーターボート選手会による1,000万円寄付、ボートレーサー個人による賞金の一部や物資の寄付、開催施行者による収益の一部寄付により、さまざまな形で支援活動を実施しております。



※緊急事態宣言中、手に入れることが難しいフェイスシールドを医療施設に支援

※ボートレースの売上金の一部は、日本財団を通じて、様々な社会貢献活動に活用されています。



日本財団公式サイト
新型コロナ対策ページ

